

歯科 50 万署名推進ニュース

NO. 7 (2011. 8. 18 FAX1 枚) 発行：「保険で良い歯科医療を」全国連絡会事務局
連絡先：全国保険医団体連合会内（歯科 TEL：03-3375-5120 FAX：03-3375-1862）

千葉土建労働組合、東京地評労働組合の方から、今回の歯科署名への思いが寄せられましたので、ご紹介します。

◆ 歯は健康の入り口 建設職人の強い願い・・・千葉土建

時間がなくて歯医者に行けない、何度も通院しないと治らない、保険外診療を勧められるが金額のことを考えると治療にかかれないなど、これが治療をせずに放置している最大の原因です。

「保険で良い歯科医療」を、こんな当たり前のことが当たり前になっていない現実が今の政治情勢に表れているのではないかと思います。この問題にかかわりを持つようになってから自分の歯で噛んで食べることがいかに大事なことがよくわかるようになりました。私の「ボケ防止」にもつながる、これは本当に重要なことです。

千葉土建は建設職人の組合です。特に建設職人は少しくらいどこかが痛くても「我慢」をして仕事をしています。よほどのことがない限り病院に行こうなんて思わないのです。それで手遅れになることが往々にしてあります。「歯が痛いなんて病気のうちに入らない」という気風が子図いているのです。

でも職人は本来まじめですから「健康づくり教室」、パンフレット学習などを通して少しずつ歯の大事さを実感してきました。

昨年の「どけんまつり」での歯科医による啓蒙活動やアンケートはがきなど協力を惜しみません。アンケートはがきは千葉県内 20 の本・支部で取り組みました。千葉県は全国で一番回収がよかったのです。今年も「健康づくり教室」に歯医者さんに来てもらいたいと支部から問い合わせが寄せられています。

長引く不況で職人の賃金単価は下げられ、仕事までも奪われています。3 万人に手が届くまでになった組織数も減勢に歯止めがかからず苦慮していますが、職人の「底力」を見せてやろうと日夜奮闘しています。

私たちの加入していた健康保険は「10 割給付」の健康保険でしたが、政府の悪政の下で 1998 年に 8 割、2003 年には 3 割負担を余儀なくされました。

歯は健康の入口です。お金の心配をせずに「保険で良い歯科医療」「安心して病院にいける」は建設職人の強い願いです。（千葉土建一般労働組合 秋田幸枝さん）



(昨年の土建まつりの様子)

◆ すべての地域と単産でとりくみを強めたい・・・東京地評労働組合

昨年、9月に全労連女性部主催の「北欧スタディーツアー」に参加し、医療費や教育費などが無償のフィンランドとデンマークを訪れました。妊娠・出産・子育ての支援センターでは、親や乳幼児の歯の相談・予防などにも力を入れていることを知りました。もちろん無料です。歯に限らず、病気や発達の状況など気になることがあればすぐ相談し、治療が受けられます。生まれる前から人生の終わりまで、健康に生きることを大切にしている国とそうでない国日本との違いをまざまざと見せつけられました。

親の経済的状況の悪化で子どもの貧困がすすんでいます。「虫歯が20本あっても治療が受けられない」「怪我をしても医者にかかれぬ」など、全国の学校で健康に生きることができない状況が報告されています。子どもたちの未来は日本の未来。お金の心配なく、学んだり病気を治したりできる国にしていくために運動を強めていくことが重要だと思っています。

私はかつて虫歯の治療をしたとき、保険のきく治療とそうでない治療があることを知り、いろいろ説明を聞いて結局保険外治療を受けました。「なんで歯だけいろいろあるの」と高額な治療費を払いながら思いました。虫歯や歯槽膿漏などはほとんどの人がかかる病気です。だからこそ、お金を心配しないで治療を受ける制度を作ることが重要です。東京地評は、すべての地域や単産でのとりくみを強めていきたいと思っています。(東京地評副議長 木原秀子さん)

※運動の推進を図るため、各地の取り組みを「歯科50万署名推進ニュース」として、紹介していきます。各地の取り組み、反応などは是非ご紹介下さい。また、当面、保団連HPの「歯科のページ」にアップいたします。